



## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分な換気を行う。作業は、風上から行い風下の人を避難させる。飛沫が付着したりガスを吸入しないようにする。
- 保護具および緊急時措置 : ゴム手袋、保護メガネなどの保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 排水が河川などへ排出されないよう注意する。
- 回収、中和 : 少量の場合には、乾燥砂、ウエスなどに吸収させ密閉容器に回収する。
- 二次災害の防止 : 危険なくできるときは、漏出源を遮断し、漏れを止める。

## 7. 取り扱いおよび保管上の注意

- 取り扱い
- 技術的対策 : 必要に応じて保護具を着用する。
- 注意事項 : できれば換気設備のある場所で取り扱う。
- 安全取り扱い注意事項 : 特記事項なし
- 保管
- 保管条件 : 直射日光を避け、風通しの良い場所に保管し、容器またはタンクに貯蔵する。

保存有効期間	:	貯蔵時の一定周囲温度	:	最低保存有効期間
		(°C)		(月数)

≤10	:	36
-----	---	----

≤25	:	18
-----	---	----

≤30	:	12
-----	---	----

≤35	:	6
-----	---	---

>35	:	※1
-----	---	----

※1 保存期間が著しく短くなるので使用前に当該バッチの品質を確認

※2 上記の表は一定の周囲温度で貯蔵した場合の最短保存有効期間を示している

容器包装材料 : SUS、ポリエチレン、ポリプロピレン、FRPの容器に保管。

## 8. 暴露防止および保護措置

- 設備対策 : できるだけ密閉された装置、機器、または局所排気装置を使用する。
- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 (暴露限界値、生物学的暴露指標)
- 日本産業衛生学会 : 設定されていない。
- ACGIH : 設定されていない。
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 呼吸保護具
- 手の保護具 : 不浸透性保護手袋(ブチルゴム・ネオプレン等)
- 目の保護具 : 保護眼鏡、保護面
- 皮膚および体の保護具 : 安全帽、保護服、保護長靴、保護前掛け保護具は定期的に点検を行う。
- 衛生対策 : 接触を避け、取扱後は手を洗うこと。

## 9. 物理的および化学的性質

- 形状 : 液体
- 色 : 無色透明

臭い	:	本製品は若干アンモニア臭がする場合がありますが、アンモニアは有効成分です。
比重	:	1.089(20℃)
融点・凝固点	:	-11℃(32.5重量%)
沸点	:	103℃(32.5重量%)
溶解性	:	水に可溶
引火点	:	不燃性
爆発範囲	:	不燃性
蒸気圧	:	データなし
蒸気密度(空気=1)	:	データなし
自然発火温度	:	不燃性
粘度	:	データなし

## 10. 安定性および反応

安定性	:	通常取り扱いでは常温化において化学的に安定。
反応性	:	加熱すると徐々に二酸化炭素とアンモニアガスに分解する。強酸化剤と反応し有毒なガスを発生する。強酸化剤と接触すると爆発性物質を発生する。
避けるべき条件	:	加熱および強酸化剤等との接触を避ける。
危険有害な分解生成物	:	熱分解によりアンモニアガス、一酸化炭素及び窒素酸化物が発生する恐れがある。

## 11. 有害性情報

[ 本製品に関する情報がないため、尿素(個体)の情報を記載する。 ]

急性毒性	:	ラット	経口	LD50	8471mg/Kg	1)	
	:	ラット	気管内投与	LD50	567mg/Kg	1)	
皮膚腐食性・刺激性	:	有り				2)	
眼に対する重篤な損傷・刺激性	:	有り				2)	
呼吸器感作性または皮膚感作性	:	皮膚感作性 : ヒトの皮膚に10%水溶液を適用した試験において「感作性なし」と評価されている。					3)
生殖細胞変異原性	:	Ames試験				陰性 2)	
	:	染色体異常試験	ハムスター(生体外)			陽性 1)	
発がん性	:	ラットまたはマウスの経口による慢性毒性・発がん性スクリーニング試験でいずれの動物種とも腫瘍発生頻度の増加は認められていない。					3)
生殖毒性	:	ヒト	胎盤内(妊娠16週間)	TDL0	1600mg/Kg	流産) 1)	
	:	サル	子宮内(妊娠18週間)	TDL0	6000mg/KG	流産) 1)	

## 12. 環境影響情報

[本銘柄に関する情報がないため、尿素(固定)の情報を記載する]

生体毒性	:	ウグイ	危険濃度	16000~30000ppm	以上	4)	
残留性・分解性	:	分解性良好					5)
生体蓄積性	:	データなし					
土壤中の移動性	:	データなし					

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	:	本製品を湖沼、海域、河川に廃棄しない。 水で十分に希釈し廃棄すること。 廃棄時には関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者若しくは地方公共団体が処理を受け付けている場合には委託し適切に処理する。 本廃棄物処理を委託する場合には、危険性、有害性、取り扱い方法などを十分に告知すること。
-------	---	---

## 14. 輸送上の注意

国際規制	規制なし
国連番号	: なし
国連分類	: 非該当
国際輸送品名	: 非該当
国内規制	規制なし
輸送の安全性	: 取り扱いおよび保管上の注意の項記載に注意し、且つ積載時に容器の破損や漏れがないかを確認し、荷崩れ防止を確実にし、適切な容器やローリーにて輸送する。この時、他の危険物のそばには積載しない。

## 15. 適用法令

水質汚濁防止法	: 施行令第2条有害物質
海洋汚染防止法	: 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第一)【93 尿素溶液】

## 16. その他の情報

## 引用文献

- 1) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances(NIOSH,2001)
  - 2) Hazardous Substances Data Bank (NLM,2001)
  - 3) JETOC/KASHIN(日本化学物質安全情報センター,1997)
  - 4) 魚類と水中生物に及ぼす化学品の毒性データ(インダストリアルデータセンター)
  - 5) 通産省広報(平成5年12月28日)
- AdBlue®(アドブルー®)はドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標です

## その他

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。